

地域運営交通「チョイソコ」の利用に関する調査と推進事業

湖陽町会

目的

昨年7月から湖南地区を走る地域運営交通「チョイソコ」の利用について、町民の意識やニーズを調査し、金沢市や事業者等への提案と、町民への普及に努める。

概要

- これまでのバス利用と「チョイソコ」に関する町民へのアンケート調査。
- 町内に運営会議を設立し、情報収集、意見交換、提案などをまとめる。
- 2回の「チョイソコ」モニターツアーの実施と意見交換会
- 他地区での、地域運営交通のヒヤリング調査（2か所）
- オンライン会議による、「地域運営交通担当者」との意見交換会

実施スケジュール

時期	内容	場所	備考
6月5日	湖陽町会「チョイソコ」利用推進運営会議の設立 以後、7回の運営会議開催	湖陽町民会館	
7月	「チョイソコ」アンケート調査（100名）	アンケートの回収は町民会館にて	アンケートの作成、集計を外部委託
9月9日	第1回「チョイソコ」モニターツアー	イタリアンカフェ「ぶどうの森」へ	ツアー後の意見交換会もあり
12月9日 2月14日	大浦地区ヒヤリング調査 内川地区ヒヤリング調査	大浦公民館 内川公民会	同様の地域運営交通の調査
R5年 3月3日	四国地方の「地域運営交通担当者」との意見交換会	湖陽町民会館（オンライン会議）	香川高専、宮崎先生の仲介による
3月20日	第2回モニターツアー 富山市 LRT 視察	富山市～岩瀬浜	LRT の視察

事業の運営体制

役割	人数	備考
運営会議	12名	
上記の内、運営会議世話人	4名	企画、ヒヤリング、資料収集
町会独自のアンケート調査	105名	アンケート対象者（湖陽町民）
金沢市によるアンケート調査	90名	アンケート調査に協力

事業実施にあたり工夫した点など

初めての経験であり、まずは自ら学ぶことを心がけた。また、他地区での同様の取組みについて、ヒヤリング、意見交換会など積極的に外部とのコミュニケーションを図ること。アンケートは今後も定点観測としてデータの収集が重要。湖陽町のみならず、湖南地区の他町会での報告や発表に備えて PPT を作成した。

事業の成果

- 湖南地区での他町会に比べて、「チョイソコ」への登録者数が多い。利用回数についても、湖陽町会からの利用者が多い。そのため、一定程度は町民に浸透したのかと考える。
- 普段クルマを利用している人も運営会議に参加しているので、クルマ利用者の視点からの声を聞くことができた。
- 「チョイソコ」利用の目的として、通院や買い物だけでなく、「チョイソコ」を利用して外出する機会を増やすことで、心身共に健康を維持し、高齢者でも外の世界と交わることの大切さを学んだ。
- 他地区でのヒヤリングを通じて、事業の継続と改善が大切なことを学んだ。
- 運営会議やモニターツアーを通じて、町民の間の信頼関係ができた。
- コロナ禍でもあり、あまり規模の大きい発表会や集まりはできなかった。

課題や今後の展望など

湖陽町のみならず、他町会においても、今後いかに登録者と利用者を増やしていくかが一番の課題。湖南地区の他町会の町民とどのように対話を進め、いかに利用拡大を図るかが課題。「チョイソコ」利用の目的として、通院や買い物のみならず、楽しい企画を増やす。まずは「チョイソコ」体験会を重ね、登録支援の機会を増やす。単年度の事業だけでなく、中長期的視点に立った、事業の継続が重要。

